

出来る様になった事・これから叶えたい事

2020年1月に退院（胃ろう造設）されてからは、体調を考慮しベッド上の生活をされていたN様。

2月からは、体調も安定され座位もしっかり保持されていた為、リクライニング車いすに変更する事が出来ました。

元々、活字が好きで車いすにオーバーテーブルを設置すると雑誌や小説を読まれていました。他の利用者様とのゲームや壁画作り・タオルたたみ等も声を掛けると進んで参加される様になり、徐々に会話も弾み表情が豊かになっていきました。6月には通常タイプの車椅子に変更され、8月には「先生」と左手をあげて元気な声で職員を呼んで下さり、便意を伝えてくれるようになりました。

トイレでの座位保持は保てていましたが、立位が不安定の為2人で介助し排泄中の転倒防止に見守りをしています。

9月も中頃を過ぎると立位も安定し、排泄後の気分不良も見られない為、その日の状態を考慮した上で1人介助でもトイレに行ける様になりました。



これからもコミュニケーションを深め、楽しみながら出来る事を少しずつ増やしていけたらと思います。

今、N様と相談しているのは、しっかりと声を出したいと言う願いを叶えられる様に、職員と一緒に声を出して本を読む練習をしたいと意気込んでおられます。

